

高速データロガー装置



本装置は、アナログ入力信号(アナログ入力データ)2点を高速(100 μ sec周期)でサンプリングを行い、アナログ入力データの異常個所の特定を行う事を目的とした装置です。

ご使用の際は、本装置の他に管理用パソコン及びLAN接続ケーブルをご準備頂く必要があります。

管理用パソコンで動作されるアプリケーションはCDを標準添付していますので、インストールしてご使用頂く事になります。

装置仕様

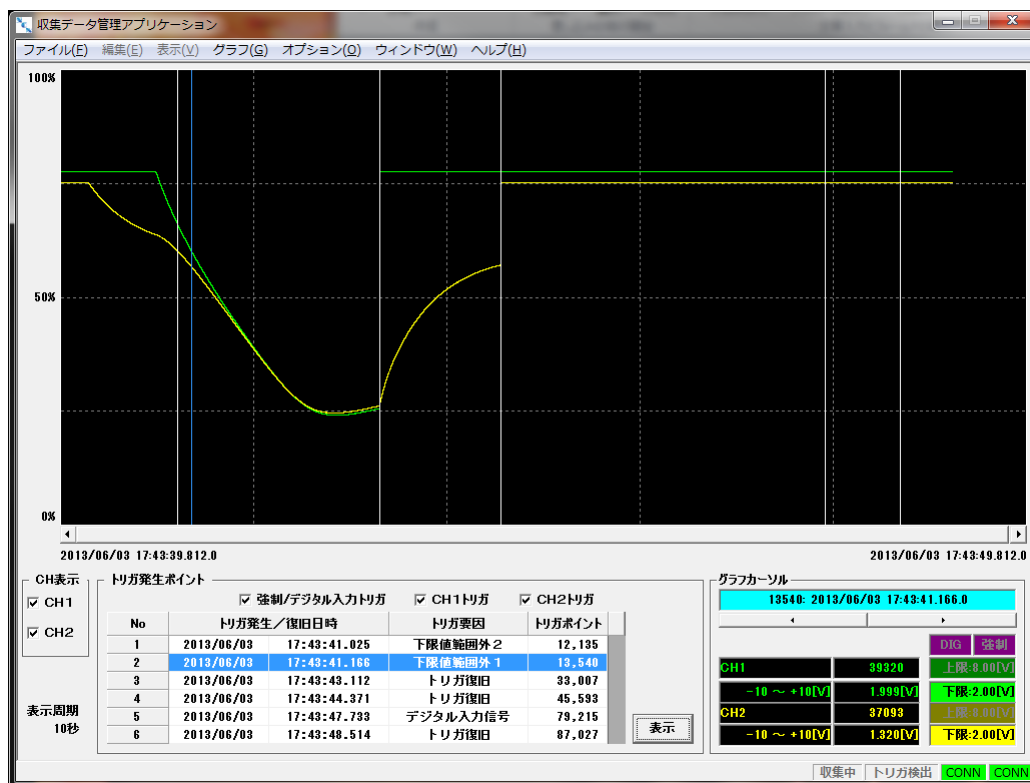
| 項目 | | 仕様内容 |
|------------|--|--|
| アナログ 入力 | 絶縁仕様 | 非絶縁 |
| | 入力方式 | シングルエンド(ユニポーラ)入力または差動入力(バイポーラ) |
| | 入力チャンネル数 | 最大2点 |
| | 入力レンジ | バイポーラ: $\pm 10V$ 、 $\pm 5V$ 、 $\pm 2.5V$ ユニポーラ: $0\sim 10V$ 、 $0\sim 5V$ 、 $0\sim 2.5V$ |
| | 最大入力電圧 | $\pm 15V$ |
| | 入力インピーダンス | 1M Ω 以上 |
| | 分解能 | 16ビット(0 \sim 65,535) |
| | 変換速度 | 2 μ sec(Max) |
| デジタル 入力 | 入力形式 | フォトカプラ絶縁入力(電流シンク出力対応) |
| | 入力点数 | 4点(測定開始・測定終了・トリガ発生・予備) |
| | 入力抵抗 | 4.7k Ω |
| | 入力ON電流 | 2.0mA以上 |
| | 入力OFF電流 | 0.16mA以下 |
| | 外部回路電源 | 12 \sim 24VDC($\pm 10\%$) |
| | 応答時間 | 200 μ sec以内 |
| デジタル 出力 | 出力形式 | リレー出力 |
| | 出力点数 | 4点(測定中・トリガ発生中・装置異常・予備) |
| | 外部回路電源 | 24VDC($\pm 10\%$) |
| | 応答時間 | 10msec以内 |
| 表示パネル | 表示デバイス | TFTカラーLCD |
| | 表示サイズ | 3.5型 |
| | 表示ドット数 | 320 \times 240ドット |
| | 有効表示寸法 | 70.56(W) \times 52.92(H)mm |
| | 表示色/階調 | 65,536色(フリックなし)/16,384色(フリックあり) |
| | バックライト | 白色LED(交換はセンドバック方式) |
| | バックライト寿命 | 50,000時間以上(周囲温度 25 $^{\circ}$ C、連続点灯時、バックライト輝度が50%、または、ちらつき点灯になるまでの時間) |
| | タッチパネル方式 | アナログ抵抗膜方式 |
| | タッチパネル分解能 | 1,024 \times 1,024 |
| タッチパネル寿命 | 100万回以上 | |
| LAN I/F | 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T RJ-45 コネクタ \times 1 | |

データ収集管理用パソコン スペック

| | 項目 | 要件 |
|--------|-------------------|--|
| パソコン本体 | プロセッサ | Intel社製プロセッサ 1GHz以上(2GHz以上を推奨) |
| | メモリ | 1GB以上(2GB以上を推奨) |
| | ディスク | 20GB以上のディスク(HDD/SSD) 空き容量 |
| | ネットワーク | Ethernet(100Mbps/1000Mbps) 100BASE-TX/1000BASE-T, RJ-45コネクタ |
| | ドライブ | CD-ROM ドライブ(インストール時に必要) |
| | ディスプレイ | VGA(1,024×768ピクセル)以上の解像度 |
| | その他 | マウス、もしくは、互換性のあるポインティングデバイス |
| ソフトウェア | オペレーティング・システム(OS) | Windows 7 (32bit/64bit、日本語) |
| | 必須コンポーネント | Microsoft Windows インストーラ 4.5以降 |

データ収集管理アプリケーション

『収集データ管理アプリケーション』では、収集装置で、収集したアナログ入力データ及びトリガポイントを、収集情報として管理し、一覧表示やグラフ表示、CSVファイルへ書込みを行うことができます。

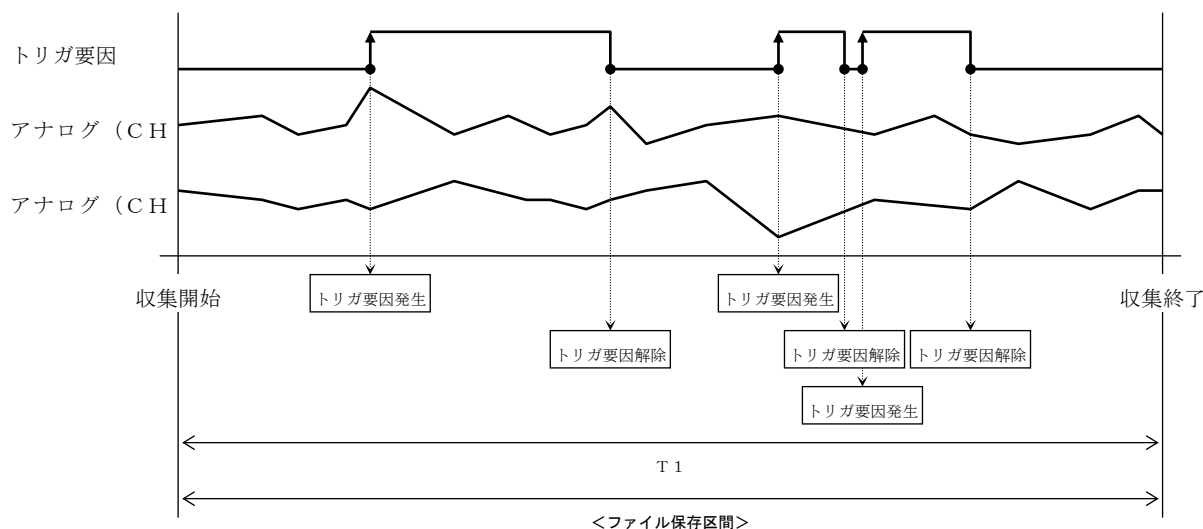


収集機能

『データ収集装置』では、アナログ入力データの収集を行う方法として、以下の4つの収集モードを準備しています。

■ ノーマルモード

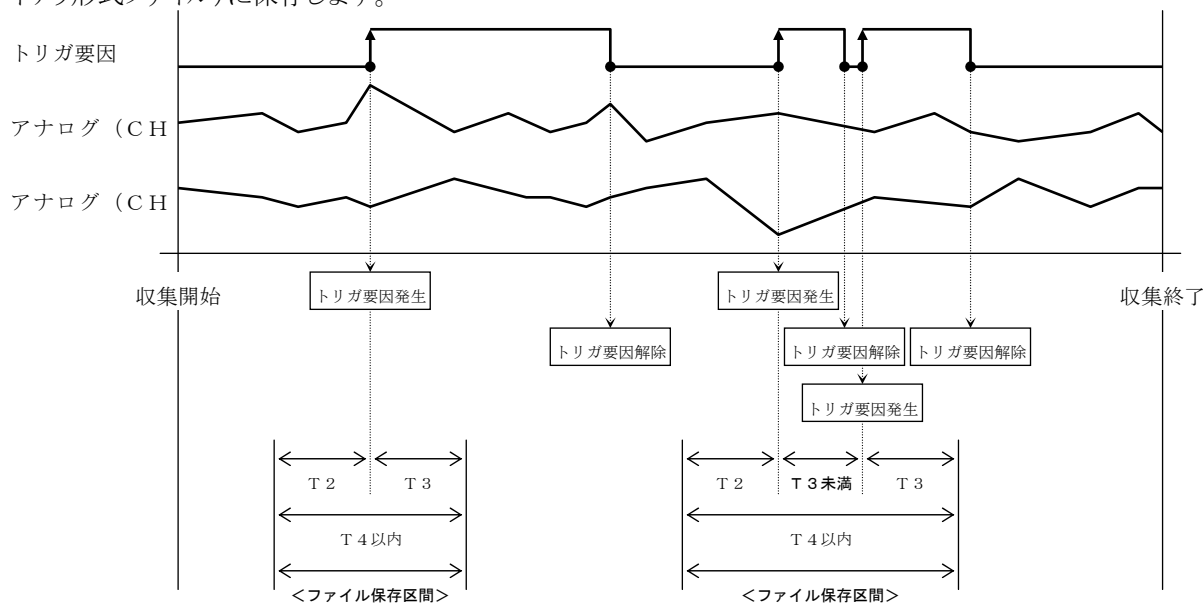
『データ収集装置』の収集モードが「ノーマルモード」の時、収集した情報(アナログ入力データ及びトリガポイント)を、**収集開始～収集終了まで常時**、『データ収集装置』のコントローラ内部のファイル(バイナリ形式ファイル)に保存します。



T1(最大収集時間) : 初期値15分(設定変更可、1~60分)

■ トリガ起動モード

『データ収集装置』の収集モードが「トリガ起動モード」の時、収集した情報(アナログ入力データ及びトリガポイント)を、**トリガ要因が発生したタイミングの直前から規定時間の間**、『データ収集装置』のコントローラ内部のファイル(バイナリ形式ファイル)に保存します。



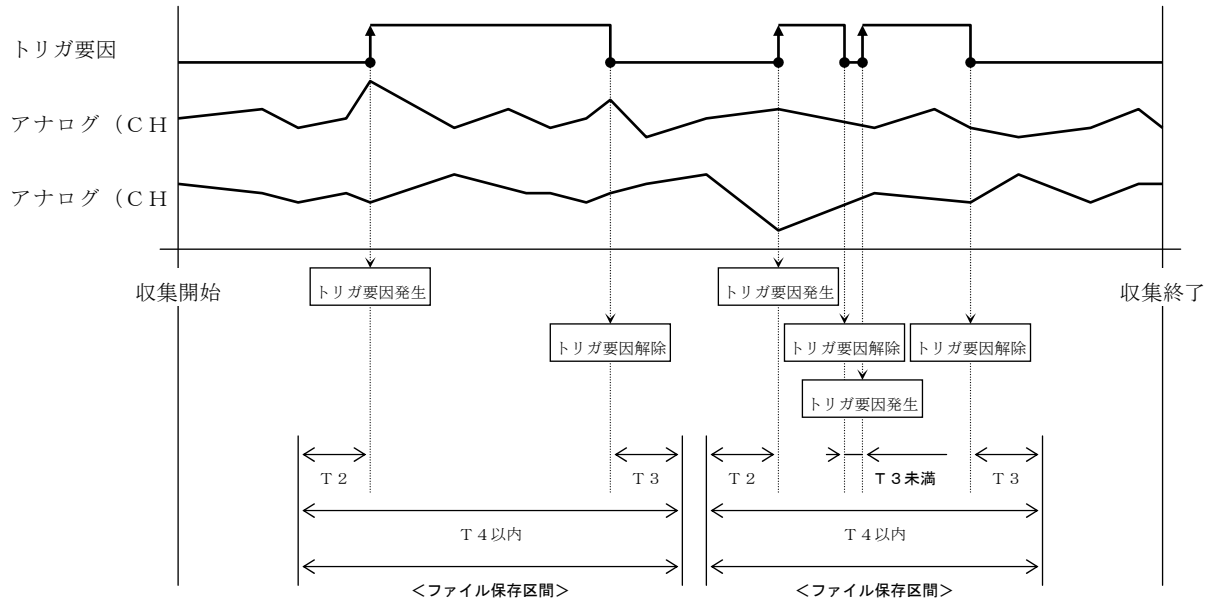
T2(開始前保存時間) : 初期値5秒(設定変更可、1~60秒)

T3(終了後保存時間) : 初期値5秒(設定変更可、1~60秒)

T4(最大保存時間) : 初期値1分(設定変更可、1~5分)

■ トリガ連続モード

『データ収集装置』の収集モードが「トリガ連続モード」の時、収集した情報（アナログ入力データ及びトリガポイント）を、トリガ要因が発生したタイミングの直前の規定時間から、トリガ要因が解除されたタイミングの直後の規定時間までの間、コントローラ内部のファイル（バイナリ形式ファイル）に保存します。



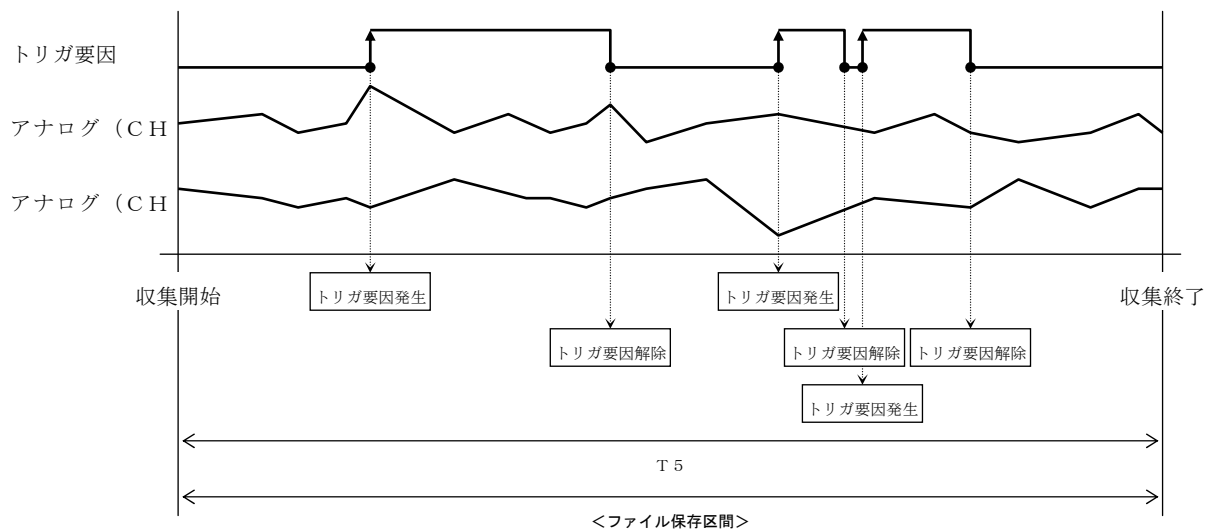
T2(開始前保存時間) : 初期値5秒(設定変更可、1~60秒)

T3(終了後保存時間) : 初期値5秒(設定変更可、1~60秒)

T4(最大保存時間) : 初期値1分(設定変更可、1~5分)

■ リモートモード

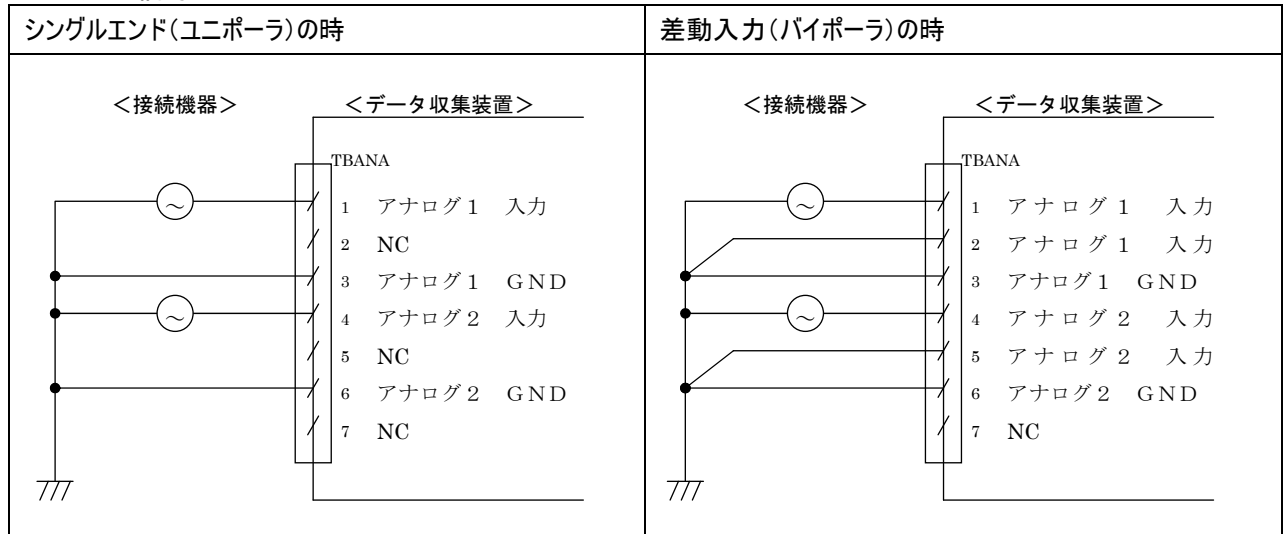
『データ収集装置』の収集モードが「トリガ連続モード」の時、収集した情報（アナログ入力データ及びトリガポイント）を、トリガ要因が発生したタイミングの直前の規定時間から、トリガ要因が解除されたタイミングの直後の規定時間までの間、コントローラ内部のファイル（バイナリ形式ファイル）に保存します。



T5(最大収集時間) : 初期値15分(設定変更可、1~60分)

接続図

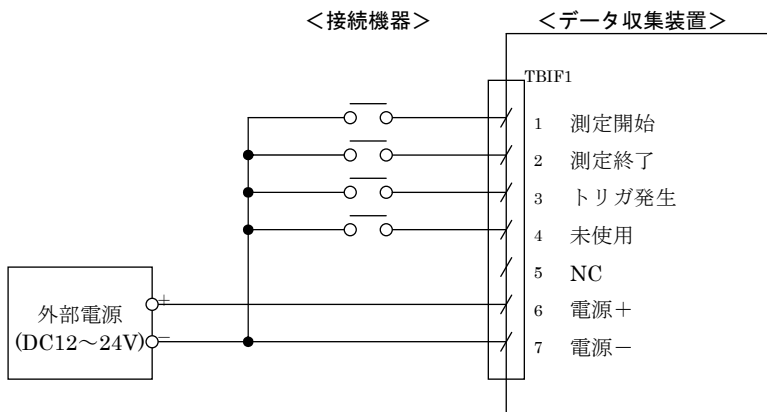
◆アナログ入力信号



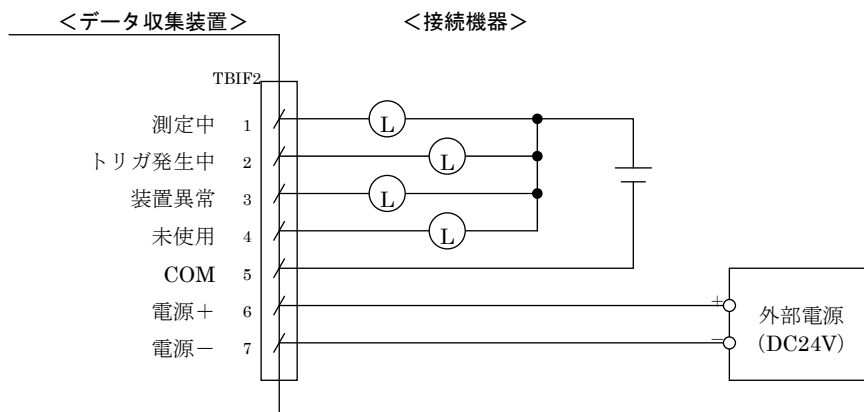
【注意事項】

※ コントローラに搭載されているアナログ入力カードでは、アナロググランド(GND)端子が、チャンネル毎に独立していないため、測定対象の信号源のグランドレベルが異なる場合は、アイソレータ等を使用して、グランドレベルが同じになるように接続してください。

◆デジタル入力信号



◆デジタル出力信号



外観図

